

## 隠居山

この辺りに、興元寺の老僧が庵を造って隠棲していたので、隠居山と呼ばれ、興元寺の墓地になっている。日露戦争の戦没者（2柱）の忠魂碑や、第二次世界大戦の戦没者（43柱）の慰霊碑などが建っている。



## えんちんだぶ

二ノ井手の井手をしばらく下った所に、大久保の井手が造られ、その井手のすぐ下に、俗に「せんちんだぶ」というふちがあった。

広さは8m四方ぐらいで、深さは一番深い所が3mはあった。ここは戦前の子供のよい遊び場であり、ここで水泳を覚えた。このふへ頭からとび込めば一人前だった。

「えんちん」がいつのまにか「せんちん」に変わったようで、「せんちん」は方言であって「雪隠」のこと、つまり便所のことであり、「だぶ」は水たまりのことをいう。



えんちんだぶ

## 東川のだぶ

福田寺橋の100mぐらい上流に「三角だぶ」があった。また国道2号線岐陽橋下に清水坂の井手があり、その下にも「だぶ」があった。この二つの「だぶ」は狭くて浅いので、小さい子供が泳いでいた。